

暮らしに役立つ情報満載！

FP FPの家

住まいる ニュース

2025 9 vol.178

今月の特集

台風大国ニッポンで 建てるべき防災住宅とは？

毎年のように日本列島を襲う台風。気候変動により、その威力はますます強大化し、住宅への被害も深刻化しています。家族の安全と財産を守るために知っておくべき「台風に強い家づくり」のポイントをご紹介します。

台風被害の現実と 対策の重要性

近年の台風被害は年々深刻化しており、屋根の飛散や外壁の損傷、大規模停電などが各地で発生しています。これらの被害の多くは、適切な住宅設計により軽減できます。

台風に強い住宅を建てるためには、まず風圧に耐える構造設計が重要です。建築基準法では地域ごとに基準風速が定められていますが、近年の台風の強大化を考慮すると、より高い耐風性能を持つ住宅が求められます。

特に重要なのは、屋根の形状と材料選択です。切妻屋根や寄棟屋根など風の抵抗を受けにくい形状を選び、適切に固定された屋根材を採用することで、風による被害を軽減できます。

また、窓の配置と仕様も重要な要素です。風の影響を受けやすい面の窓には耐衝撃ガラスや雨戸・シャッターを設置することで、飛来物からの被害を防げます。外壁材についても、風圧に対応できる適切な仕様を選択し、正しい施工を行うことで安全性を確保できます。

構造と施工精度が決める 住宅の運命

台風に対する住宅の強さは、見た目では判断できない構造部分で決まります。基礎から屋根まで一体となって風圧に抵抗する構造設計と、それを実現する高い施工精度が何よりも重要です。特に接合部分の金物選択や施工方法は、住宅全体の耐風性能を左右する決定的な要素となります。

従来の在来工法では、柱・梁・筋交いなどの構造材を現場で組み立てるため、施工者の技能により品質にばらつきが生じやすく、接合部分の強度不足が台風被害の原因となるケースが少なくありません。また、断熱材の施工不良により生じる隙間は、強風時の風圧を建物内部に侵入させ、屋根の吹き上げや外壁の損傷を引き起こすリスクを高めます。

さらに、気密性能の不足は台風時の室内

環境悪化にもつながります。隙間から侵入する風雨により室内が浸水し、家具や電化製品に深刻なダメージを与える可能性があります。このような被害を防ぐためには、高い気密性能と防水性能を持つ住宅構造が必要不可欠です。

こうした課題を根本的に解決するのが「FPの家」です。独自開発の「FPウレタン断熱パネル」は、断熱材と構造材が工場で一体成型されているため、現場施工による品質のばらつきがありません。パネル同士の接合部は専用の接合金物でしっかりと固定され、台風の強風にも耐える高い構造強度を実現します。また、パネル自体が優れた気密性能を持つため、風雨の侵入を徹底的に防ぎ、台風時でも安心して過ごせる住環境を提供します。「FPの家」なら、台風大国である日本において、真に安心できる住まいを手に入れることができるのです。



住まいの知恵袋

トイレ



住宅のトイレは、主に3つのタイプから選択することになります。便器と便座、タンクがそれぞれ独立したパーツで構成される「組み合わせ便器」は、部品ごとに交換や修理ができるため、メンテナンス性に優れ、初期費用を抑えられる特徴があります。「一体型トイレ」は、便器とタンクが一体成型されており、便座を組み合わせで使用します。継ぎ目が少ないため掃除がしやすく、デザイン性にも優れています。組み合わせ便器に比べてすっきりとした外観が魅力です。水道直結式でタンクを持たない最もコンパクトなタイプの「タンクレストイレ」は、空間を広く使え、洗練されたデザインが特徴的。ただし、水圧条件や停電時の使用に制約がある場合があります。設置前の確認が必要です。

お金の豆知識

建築費



戸建て住宅の建築には、基礎工事や木工事などの本体工事費だけでなく、様々な追加費用が必要です。付帯工事費として測量費、地盤改良費、外構工事費、上下水道引込工事費などがかかります。さらに諸費用として住宅ローンの保証料や事務手数料、登記費用、火災保険料、建築確認申請費用なども発生します。

暮らしの1ポイント

防災食

災害時には電気・ガス・水道の復旧に時間がかかるため、最低3日分、できれば1週間分の防災食を備蓄することが重要。缶詰やレトルト食品など、常温保存できて調理不要、または簡単な調理で食べられるものを選び、水は1人1日3ℓを目安に準備し、定期的に入れ替える「ローリングストック」を心がけましょう。



できた！簡単DIY

何度でも使える蜜蝋ラップ



プラスチックラップの代わりに何度でも使えて、環境に優しく経済的な「蜜蝋ラップ」を手作りしてみませんか。材料は綿100%の布、蜜蝋、アイロンとクッキングシートを用意します。まず布を適当なサイズにカットし、蜜蝋を削るかすりおろして細かくしておきます。クッキングシートの上に布を置き、その上に蜜蝋をまんべんなく散らします。さらにクッキングシートを重ね、アイロンの中温で蜜蝋を溶かしながら布全体に染み込ませます。蜜蝋が均等に広がったら、布を持ち上げて数秒間空気に当てて冷まし固めれば完成です。使用後は冷水で軽く洗い、自然乾燥させるだけでお手入れも簡単。手の温度で柔らかくなる性質を活かして食品にぴったりフィットし、約1年間繰り返し使用できます。

おしえて！Dr.住まいる

台風への備え

ベランダや庭の鉢植え、物干し竿、自転車などは室内に避難させるか、しっかりと固定します。窓ガラスには飛散防止フィルムを貼り、カーテンを下ろして破片の飛散を防ぎましょう。雨戸がある場合は閉めて鍵をかけましょう。また、停電に備えて懐中電灯、ラジオ、携帯充電器を準備し、断水対策として浴槽に水を張るなど生活用水の確保も重要です。

